

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090300514		
法人名	有限会社ほほ笑み介護支援センター		
事業所名	ほほ笑みホーム 梨ノ木荘		
所在地	長野県上田市大屋239-3		
自己評価作成日	令和 2年 2月19日	評価結果市町村受理日	令和 2年12月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kanistrue&JigyosyoCd=2090300514-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 2年10月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

梨ノ木荘は、病院での急性期治療が終了した後、在宅で継続した医療が必要となった患者様を中心にご入居頂いています。24時間看護師体制をとり、医療依存度が高いご利用者様・ご家族に安心して生活していただけるようにしています。ご入居前には、ご本人・ご家族、関係職種(医師・看護師・ソーシャルワーカー)と密に連携をとり、顔見知りの関係作りをしてスムーズなご入所を心がけています。開所より1年不足ですが、今後、地域との連携にも力を入れていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ほほ笑みホーム 梨ノ木荘は旧グループホームの建屋を大幅にリノベーションし令和元年5月に開設された。当初から医療依存度の高い高齢者を受け入れ、病院や大規模施設でなく、地域と密着した家庭的な雰囲気の中で穏やかに最期までその人らしい生活を送れるように看護師を厚く配置している。ホームはしなの鉄道大屋駅北の住宅地の一角にあり、ホームの看板がなければグループホームとはわからないほど住宅に溶け込んだたたずまいである。新型コロナウイルス禍、今年度は自粛ぎみではあるが、利用者が地区の公民館で行われる「いきいきサロン」に参加し、体操やお茶のみなど、地域の人々と一緒に楽しんでいる。また、散歩時には地域の人々と挨拶を交わし親しく話をすることもあり、節分には自治会の鬼と七福神に扮した役員の方々による豆まきが行われ利用者も楽しんだという。歩いて10分ほどの所に同じ法人で運営する小規模多機能型居宅介護事業所と認知症グループホームの複合施設があり、その地域交流スペースで行われる琴やハーブの演奏会などでも地域の人々とふれあっている。家族の協力を得ながら泊りで温泉などを楽しんでいる方や職員の手助けで雑巾縫いなどを継続している方などもおり、また、無理のないレクリエーションや体操を少しずつ取り入れ、一人ひとりのペースに合わせた生活が営まれている。看護師や准看護師兼介護福祉士などの資格を保持する職員がほとんどで看護・介護の長年の経験から終末期あるいは看取りへの対応も十分可能で医療面での安心を得ることができるホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)		